

新しい研究では、アスピリンがCOVIDリスク、さらには死を大幅に削減できることがわかりました



ゲイリー・レイ - 2021年10月11日



最近の研究によると、市販のアスピリンは、入院、換気、死亡など、COVID-19の深刻な影響を軽減できることが示されています。

エルサレムポスト **は**、低用量のアスピリンが換気の必要性を44%削減し、ICU入室を43%、院内死亡率を47%削減できると**報告**しています。ジョージワシントン大学の研究は、調査結果を裏付けています。

ジョナサン・チョウ博士は最近、この研究とCOVID-19と血栓との関係について話しました。「血栓とCOVID-19の関係について学んだので、脳卒中や心臓発作の予防に使用されるアスピリンがCOVID-19患者にとって重要である可能性があることがわかりました。私たちの研究では、低用量のアスピリンとCOVID-19の重症度の低下および死亡との間に関連性があることがわかりました。」

Lancet Open Access eClinical Medicineに掲載されたレポートには、筆頭著者のSameh Hozayenによる次の声明が含まれています。

また、心房細動などの異常な心臓リズムに続発する脳内の血栓を防ぎます。抗凝血剤はこれらの疾患の治療の標準であるため、COVID-19に関連する入院に影響があるかどうかを確認するためにデータを調べました。」

この研究では、COVID-19感染の発症前または発症後に抗凝血剤が開始され、死亡がほぼ半分に減少したことがわかりました。

一般的なアスピリンの連隊の利点は新しいものではありませんが、最近注目を集めている研究で確認されています。今月、Medical Express **は**、ミネソタ大学とスイスのバーゼル大学の研究を引用して、アスピリンがCOVID-19患者に与える可能性のあるプラスの影響について**報告**しました。

適度なアスピリンレジメンを推奨するこれらの最近の研究は、多くの人がワクチン接種を受けた人々の血液凝固の増加の報告に対処する方法を探しているときに来ます。専門家は、適切に投与されたアスピリンは、脳卒中や心筋梗塞のリスクを減らすことができると述べています。